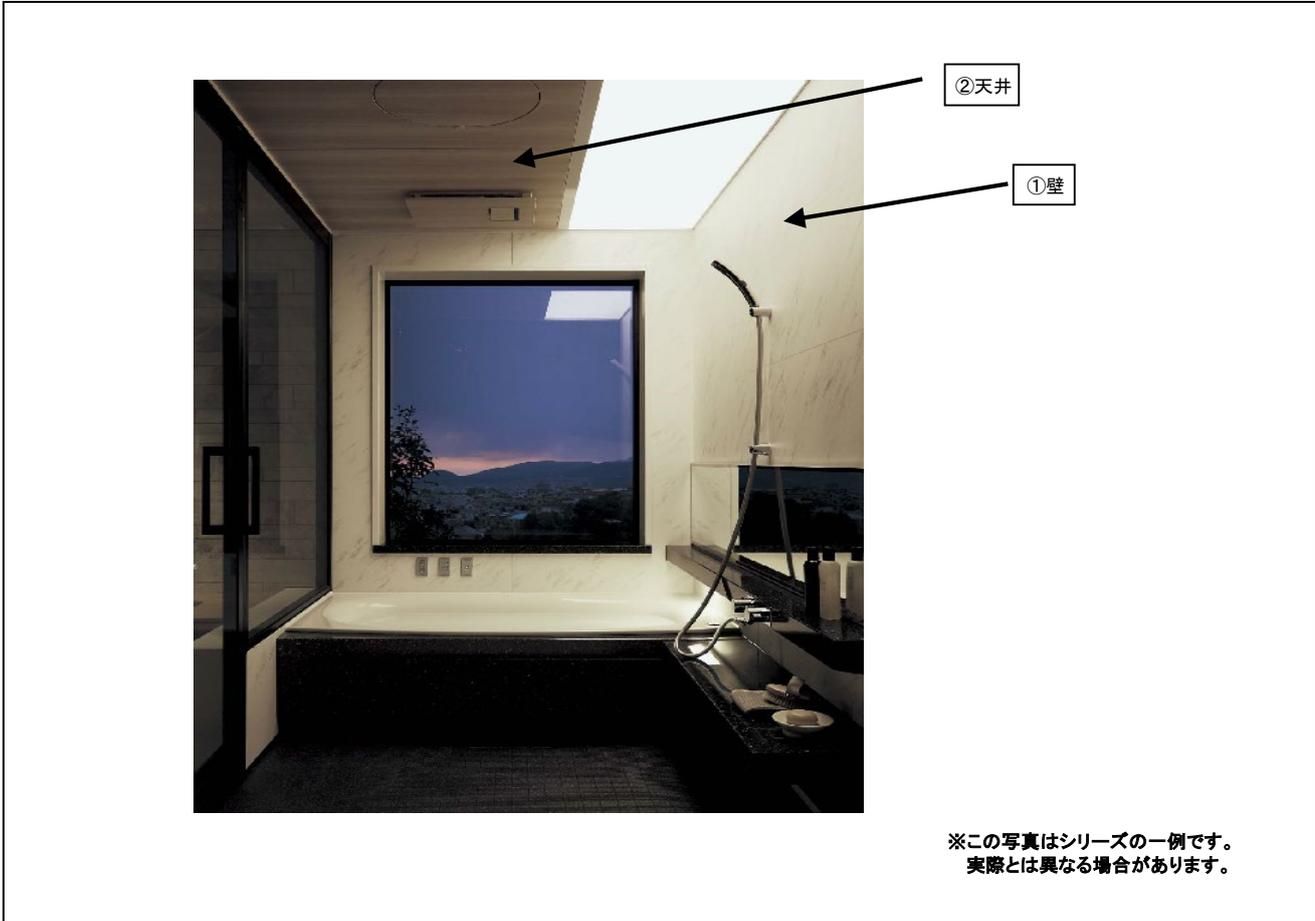


不燃・準不燃材料認定番号一覧表

商品区分	戸建住宅用浴室ユニット
商品シリーズ名	L-class



構成部位		認定の種類	認定番号	備考(壁柄)	
①壁	eパネル壁	大臣認定	NM-4255	アジャックス/ジュラベージュ 御影ブラック/クォーツホワイト	
		大臣認定	NM-4763	モルタルトープグレー/モルタルモーピンク ヘリンボーンブラック	
		大臣認定	NM-4000-1	アイアンダーク/パールリーフ/ディーブルー ディーパープル/エアリアルブルー エアリアルシルバー	
		不燃認定 対象外			シェイドストーンホワイト/シェイドストーングレー シェイドストーンベージュ トラバーチングレー/トラバーチンホワイト オデッサベージュ/チーク オデッサベージュ(チークライン)
		大臣認定	NM-3790	上記以外の壁柄	
②天井	eパネルフラット天井	大臣認定	NM-3790	グレイスホワイト/ヒノキ/メタリックシルバー	

※1 商品構成により、上記に記載した建築材料の一部しか使用しない場合があります。

※2 認定書には当社管理上の記載を付しております。

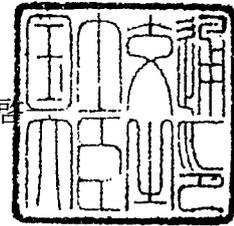
※3 住宅設備・建材商品ご相談窓口(個人のお客様:0120-878-093 法人のお客様:0120-187-150)

認 定 書

国 住 指 第 5 7 号
平成 28 年 5 月 24 日

パナソニック株式会社
代表取締役 津賀 一宏 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

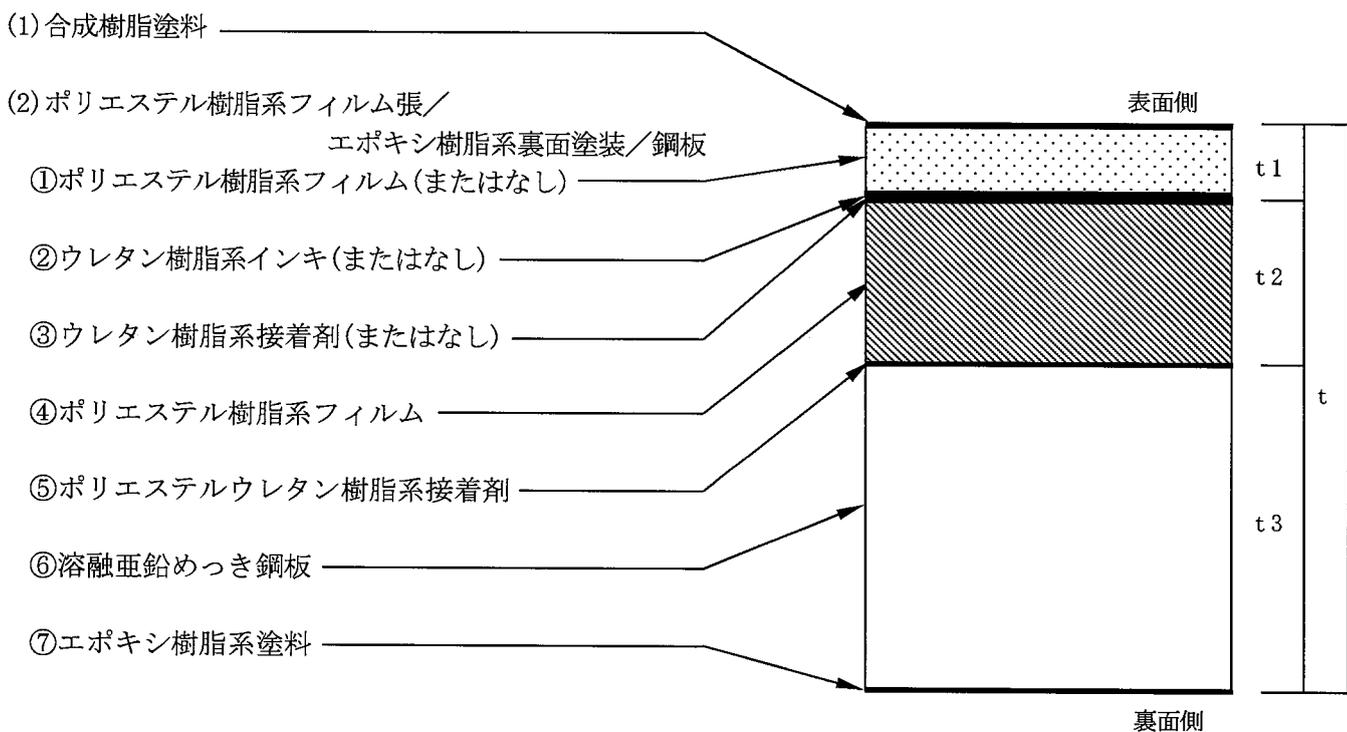
記

1. 認定番号
NM-4255
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂系塗装／ポリエステル樹脂系フィルム張／エポキシ樹脂系裏面塗装／鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

項 目	仕 様
(2) ポリエステル樹脂系フィルム張/エポキシ樹脂系裏面塗装/鋼板	③ウレタン樹脂系接着剤 (a)、(b)のうち、いずれか一仕様
	(a) 質量(g/m ²) : 6.0±0.6以下(固形量)
	(有機質量(g/m ²) : 6.0±0.6以下)
	組成(mass%) :
	ウレタン系樹脂 100
	(b) なし
	④ポリエステル樹脂系フィルム
厚さ(mm) : 0.050±0.005 ~ 0.110±0.010	
質量(g/m ²) : 72.0±7.2 ~ 166±16.6	
(有機質量(g/m ²) : 55.4±5.5 ~ 136±14)	
組成(mass%) :	
ポリエステル樹脂 77±2 ~ 82±1	
無機系顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 18±1 ~ 23±2	
⑤ポリエステルウレタン樹脂系接着剤	
質量(g/m ²) : 7.0±0.70以下(固形量)	
(有機質量(g/m ²) : 7±0.7以下)	
組成(mass%)	
ポリエステルウレタン樹脂 100	
⑥溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)	
厚さ(mm) : 0.463±0.046 ~ 1.302±0.13	
(原板厚さ(mm) : 0.45±0.045 ~ 1.2±0.1)	
質量(kg/m ²) : 3.713±0.37 ~ 10.144±1.01	
⑦エポキシ樹脂系塗料(裏面塗装)	
質量(g/m ²) : 15±2以下(固形量)	
(有機質量(g/m ²) : 13±1以下)	
組成(mass%) :	
エポキシ樹脂 88±1以下	
無機系顔料(二酸化チタン等) 12±1以上	

4. 構成断面等(単位 : mm)



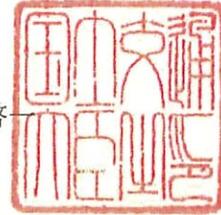
t : 0.523 ~ 1.536
 t1 : 0.010 ~ 0.035
 t2 : 0.050 ~ 0.110
 t3 : 0.463 ~ 1.302

認定書

国住指第783号
平成30年6月29日

三菱ケミカル株式会社
代表取締役 取締役社長 和賀 昌之 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令第108条の2第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4763
2. 認定をした構造方法等の名称
ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム張／エポキシ樹脂系裏面塗装
／鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム張/エポキシ樹脂系裏面塗装/鋼板

2. 寸法および形状等

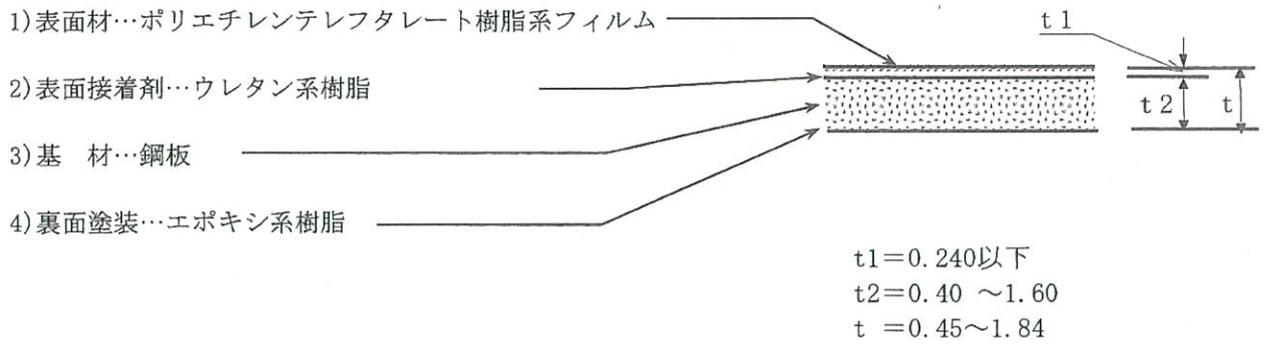
項目	仕様
形状	平板
表面形状	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)平滑 2)エンボス
厚さ(mm)	0.45 \pm 0.05~1.84 \pm 0.18
質量(kg/m ²)	3.23 \pm 0.32~12.98 \pm 1.30

3. 材料構成

項目	仕様																						
表面材	<p>ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム (積層)</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚さ0.240\pm0.024mm以下 質量274.0\pm27.4g/m²以下(有機質量249.5\pm25.0g/m²以下) 構成 <ul style="list-style-type: none"> [1]上層: ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム <ul style="list-style-type: none"> 厚さ0.055\pm0.005mm以下 質量59.1\pm5.9g/m²以下(有機質量59.1\pm5.9g/m²以下) 組成(質量%) <table border="0"> <tr> <td>ポリエチレンテレフタレート系樹脂</td> <td>.....75.0\pm2.5</td> </tr> <tr> <td>ポリブチレンテレフタレート系樹脂</td> <td>.....25.0\pm2.5</td> </tr> </table> [2]印刷層: 塩化ビニル-酢酸ビニル共重合樹脂アクリル樹脂系インキ <ul style="list-style-type: none"> 質量13.90\pm1.4g/m²(固形量)以下(有機質量9.90\pm0.99g/m²以下) 構成(g/m²) <table border="0"> <tr> <td>塩化ビニル-酢酸ビニル共重合系樹脂</td> <td>.....3.66\pm0.37</td> </tr> <tr> <td>アクリル系樹脂</td> <td>.....2.77\pm0.28</td> </tr> <tr> <td>有機質系顔料(フタロシアニン系等)</td> <td>.....2.94\pm0.29</td> </tr> <tr> <td>有機質系添加剤</td> <td>.....0.53\pm0.05</td> </tr> <tr> <td>無機質系顔料(カーボンブラック等)</td> <td>.....0.0~2.0</td> </tr> <tr> <td>無機質系添加剤</td> <td>.....0.0~2.0</td> </tr> </table> [3]下層: ポリエチレンテレフタレート系樹脂フィルム <ul style="list-style-type: none"> 厚さ0.185\pm0.019mm以下 質量201.0\pm20.1g/m²以下(有機質量180.5\pm18.1g/m²以下) 組成(質量%) <table border="0"> <tr> <td>ポリエチレンテレフタレート系樹脂</td> <td>.....61.3\pm3.9</td> </tr> <tr> <td>ポリブチレンテレフタレート系樹脂</td> <td>.....28.5\pm2.9</td> </tr> <tr> <td>無機質系顔料(酸化チタン等)</td> <td>.....10.2\pm0.1</td> </tr> </table> 	ポリエチレンテレフタレート系樹脂75.0 \pm 2.5	ポリブチレンテレフタレート系樹脂25.0 \pm 2.5	塩化ビニル-酢酸ビニル共重合系樹脂3.66 \pm 0.37	アクリル系樹脂2.77 \pm 0.28	有機質系顔料(フタロシアニン系等)2.94 \pm 0.29	有機質系添加剤0.53 \pm 0.05	無機質系顔料(カーボンブラック等)0.0~2.0	無機質系添加剤0.0~2.0	ポリエチレンテレフタレート系樹脂61.3 \pm 3.9	ポリブチレンテレフタレート系樹脂28.5 \pm 2.9	無機質系顔料(酸化チタン等)10.2 \pm 0.1
ポリエチレンテレフタレート系樹脂75.0 \pm 2.5																						
ポリブチレンテレフタレート系樹脂25.0 \pm 2.5																						
塩化ビニル-酢酸ビニル共重合系樹脂3.66 \pm 0.37																						
アクリル系樹脂2.77 \pm 0.28																						
有機質系顔料(フタロシアニン系等)2.94 \pm 0.29																						
有機質系添加剤0.53 \pm 0.05																						
無機質系顔料(カーボンブラック等)0.0~2.0																						
無機質系添加剤0.0~2.0																						
ポリエチレンテレフタレート系樹脂61.3 \pm 3.9																						
ポリブチレンテレフタレート系樹脂28.5 \pm 2.9																						
無機質系顔料(酸化チタン等)10.2 \pm 0.1																						

項 目	仕 様								
表面接着剤	ウレタン系樹脂 ・質量 $5.1 \pm 0.5 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $5.1 \pm 0.5 \text{g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">ウレタン系樹脂</td> <td>……………$70.0 \pm 3.0 \sim 80.0 \pm 2.0$</td> </tr> <tr> <td>エポキシ系樹脂</td> <td>……………$20.0 \pm 2.0 \sim 30.0 \pm 3.0$</td> </tr> </table>	ウレタン系樹脂	…………… $70.0 \pm 3.0 \sim 80.0 \pm 2.0$	エポキシ系樹脂	…………… $20.0 \pm 2.0 \sim 30.0 \pm 3.0$				
ウレタン系樹脂	…………… $70.0 \pm 3.0 \sim 80.0 \pm 2.0$								
エポキシ系樹脂	…………… $20.0 \pm 2.0 \sim 30.0 \pm 3.0$								
基 材	鋼板：1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) 冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) 2) 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) 3) 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313) 4) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323) 5) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) 6) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ・厚さ $0.40 \pm 0.04 \text{mm} \sim 1.60 \pm 0.16 \text{mm}$ ・質量 $3.14 \pm 0.314 \text{kg/m}^2 \sim 12.69 \pm 1.269 \text{kg/m}^2$								
裏面塗装	エポキシ系樹脂 ・質量 $8.6 \pm 0.86 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $3.97 \pm 0.40 \text{g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) { <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">エポキシ系樹脂</td> <td>……………29.2 ± 2.9</td> </tr> <tr> <td>ウレタン系樹脂</td> <td>……………12.2 ± 1.2</td> </tr> <tr> <td>フェノール系樹脂</td> <td>……………4.8 ± 0.5</td> </tr> <tr> <td>無機質系顔料 (酸化チタン、カーボンブラック等)</td> <td>……………53.8 ± 4.6</td> </tr> </table>	エポキシ系樹脂	…………… 29.2 ± 2.9	ウレタン系樹脂	…………… 12.2 ± 1.2	フェノール系樹脂	…………… 4.8 ± 0.5	無機質系顔料 (酸化チタン、カーボンブラック等)	…………… 53.8 ± 4.6
エポキシ系樹脂	…………… 29.2 ± 2.9								
ウレタン系樹脂	…………… 12.2 ± 1.2								
フェノール系樹脂	…………… 4.8 ± 0.5								
無機質系顔料 (酸化チタン、カーボンブラック等)	…………… 53.8 ± 4.6								

4. 構造説明図



5. 施工方法等

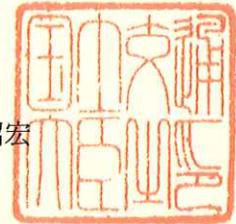
本仕様を施工するに当たっては、所定の防火性能が損なわれないように材料端部及び目地部の処理を適切に行う必要がある。

認定書

国住指第 1141 号
平成 27 年 8 月 7 日

パナソニック株式会社
代表取締役 津賀 一宏 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-4000-1
2. 認定をした構造方法等の名称
ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム張/せっこうボード裏張/ポリエステル樹脂系フィルム張/エポキシ樹脂系裏面塗装/鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 一般名

ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム張/せっこうボード裏張/ポリエステル樹脂系フィルム張/エポキシ樹脂系裏面塗装/鋼板

2. 形状・寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表面の形状	平滑
厚 さ (mm)	10.04±0.57 ~ 13.33±0.58
質 量 (kg/m ²)	9.93±0.47 ~ 17.07±0.57

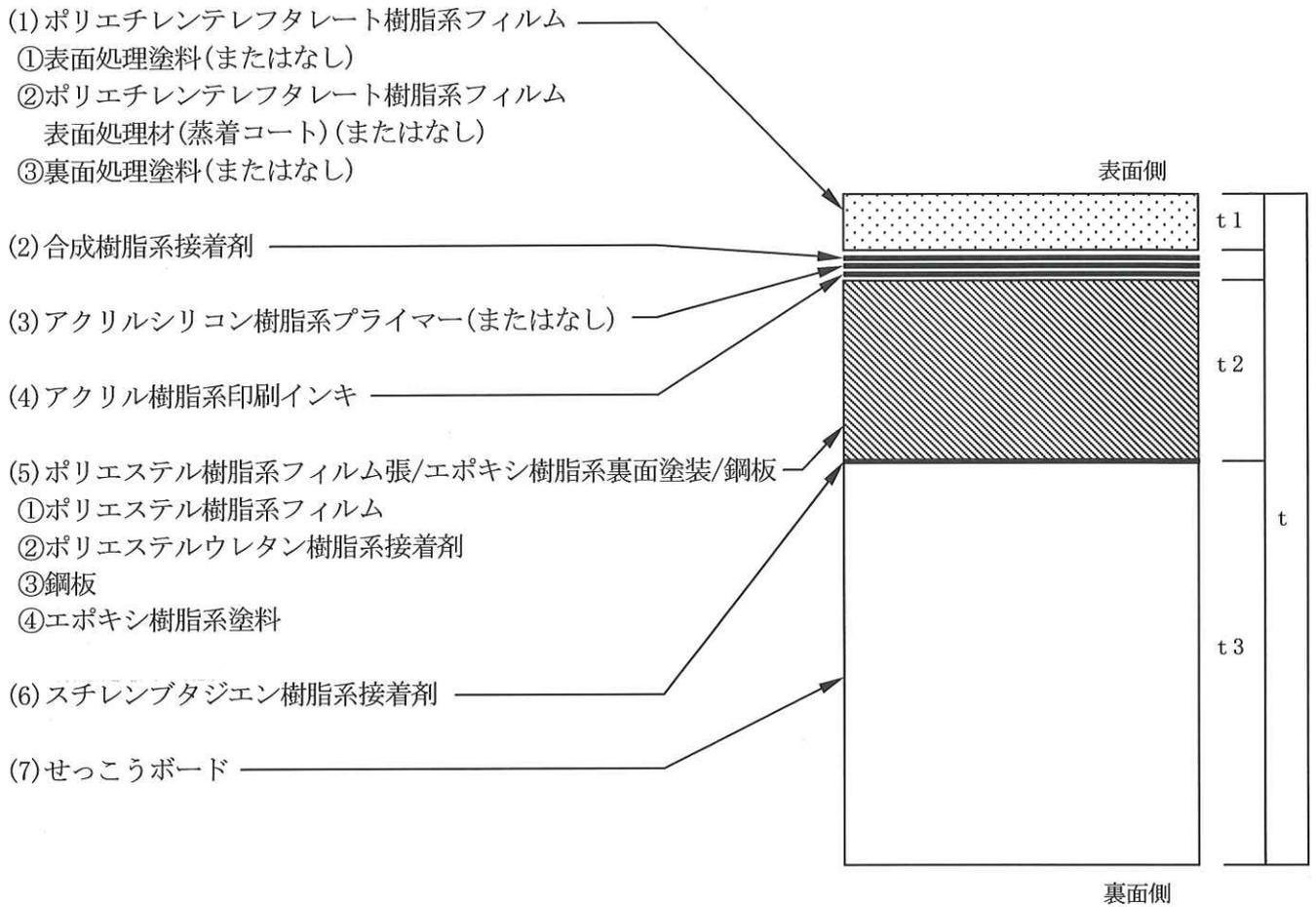
3. 材料構成等

項 目	仕 様
(1) ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム	<p>厚さ(mm) : 0.05±0.005 以下 質量(g/m²) : 79±8 以下 (有機質量(g/m²) : 78±8 以下)</p> <p>①表面処理塗料(a)、(b)のうち、いずれか一仕様 (a) アクリル樹脂系塗料 質量(g/m²) : 5±0.5 以下(固形量) (有機質量(g/m²) : 5±0.5 以下) 組成(mass%) : アクリル樹脂 100</p> <p>(b) なし</p> <p>②ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム 厚さ(mm) : 0.05±0.005 以下 質量(g/m²) : 71±7 以下 (有機質量(g/m²) : 70±7 以下)</p> <p>1) 表面処理材(蒸着コート) (a)、(b)のうち、いずれか一仕様 (a) 酸化アルミニウム・酸化珪素等 質量(g/m²) : 1 以下(有機質量(g/m²) : 0) (b) なし</p> <p>2) ポリエチレンテレフタレート樹脂系フィルム 厚さ(mm) : 0.05±0.005 以下 質量(g/m²) : 70±7 以下 (有機質量(g/m²) : 70±7 以下) 組成(mass%) : ポリエチレンテレフタレート樹脂 100</p> <p>③裏面処理塗料(a)、(b)のうち、いずれか一仕様 (a) ポリエステルポリウレタン樹脂系塗料 質量(g/m²) : 3±0.3 以下(固形量) (有機質量(g/m²) : 3±0.3 以下) 組成(mass%) : ポリエステルポリウレタン樹脂 100</p> <p>(b) なし</p>

項 目	仕 様
(2) 合成樹脂系接着剤	質量(g/m ²) : 40±4 以下(固形量)(有機質量(g/m ²) : 40±4 以下) (a)～(d)のうち、いずれか一仕様 (a) ポリエステル樹脂系接着剤 組成(mass%) : ポリエステル樹脂 100 (b) ポリオレフィン樹脂系接着剤 組成(mass%) : オレフィン樹脂 100 (c) ポリエステル樹脂・オレフィン樹脂系接着剤 組成(mass%) : ポリエステル樹脂 30±3 ～ 70±3 オレフィン樹脂 30±3 ～ 70±3 (d) ポリウレタン樹脂系接着剤 組成(mass%) : ポリウレタン樹脂 100
(3) アクリルシリコン樹脂系プライマー	(a)、(b)のうち、いずれか一仕様 (a) 質量(g/m ²) : 10±1 以下(固形量)(有機質量(g/m ²) : 10±1 以下) 組成(mass%) : アクリル樹脂 70±3 シリコン樹脂 30±3 (b) なし
(4) アクリル樹脂系印刷インキ	質量(g/m ²) : 25±3 以下(固形量)(有機質量(g/m ²) : 25±3 以下) (a)～(d)のうち、いずれか一仕様 (a) 組成(mass%) : アクリル樹脂 99 以下 有機系添加剤(重合開始剤等) 1±0.1 ～ 10±1 無機顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 0 ～ 10±1 有機顔料(多環顔料、アゾ顔料、レーキ顔料等) 0 ～ 5±0.5 (b) 組成(mass%) : アクリル樹脂 30±3 ～ 78±8 有機系添加剤(重合開始剤等) 15±2 ～ 35±4 無機顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 0 ～ 10±1 有機顔料(多環顔料、アゾ顔料、レーキ顔料等) 0 ～ 5±0.5 (c) 組成(mass%) : アクリル樹脂 90 以下 有機系添加剤(重合開始剤等) 10±1 ～ 26±3 無機顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 0 ～ 10±1 有機顔料(多環顔料、アゾ顔料、レーキ顔料等) 0 ～ 5±0.5 (d) 組成(mass%) : アクリル樹脂 85±1.5 ～ 100 無機顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 0 ～ 10±1 有機顔料(多環顔料、アゾ顔料、レーキ顔料等) 0 ～ 5±0.5

項 目	仕 様
(5) ポリエステル樹脂系フィルム張/エポキシ樹脂系裏面塗装/鋼板	<p>国土交通大臣認定：不燃材料 NM-3790 厚さ(mm)：0.538±0.068 ～ 0.777±0.078 質量(kg/m²)：3.833±0.47 ～ 5.555±0.55(有機質量(g/m²)：110±11以下)</p> <p>①ポリエステル樹脂系フィルム 厚さ(mm)：0.075±0.008以下 質量(g/m²)：101±10以下(有機質量(g/m²)：90±9以下) 組成(mass%)： ポリエステル樹脂 77±2 ～ 89±1 無機系顔料(酸化チタン、カーボンブラック等) 11±1 ～ 23±2</p> <p>②ポリエステルウレタン樹脂系接着剤 質量(g/m²)：7±1以下(固形量)(有機質量(g/m²)：7±1以下) 組成(mass%) ポリエステルウレタン樹脂 100</p> <p>③鋼板 (a)～(d)のうち、いずれか一仕様 (a) 溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302) (b) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) (c) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板(JIS G 3323) (d) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317) 厚さ(mm)：0.463±0.06 ～ 0.702±0.070 (原板厚さ(mm)：0.45±0.06 ～ 0.60±0.07) 質量(kg/m²)：3.71±0.47 ～ 5.432±0.54 めっき付着量(kg/m²)：0.180 ～ 0.722</p> <p>④エポキシ樹脂系塗料(裏面塗装) 質量(g/m²)：15±2以下(固形量)(有機質量(g/m²)：13±1以下) 組成(mass%)： エポキシ樹脂 88±1以下 無機系顔料(二酸化チタン等) 12±1以上</p>
(6) スチレンブタジエン樹脂系接着剤	<p>質量(g/m²)：60±6以下(固形量)(有機質量(g/m²)：60±6以下) 組成(mass%)： スチレンブタジエン樹脂 100</p>
(7) せっこうボード	<p>(a)、(b)のうち、いずれか一仕様 (a) 国土交通省大臣認定：準不燃材料 QM-9828 厚さ(mm)：9.5±0.5 質量(kg/m²)：6.1 ～ 8.6 比重：0.65以上 (b) 国土交通省大臣認定：不燃材料 NM-8619 厚さ(mm)：12.5±0.5 質量(kg/m²)：8.1 ～ 11.3 比重：0.65以上</p>

4. 構成断面等(単位: mm)



t : 10.04 ~ 13.33
 t 1 : 0.05
 t 2 : 0.538 ~ 0.777
 t 3 : 9.5, 12.5

認定書

国住指第 2621 号
平成 25 年 11 月 27 日

東洋鋼板株式会社
代表取締役社長 田中 厚夫 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第九号及び同法施行令 108 条の 2 第一号から第三号まで（不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
NM-3790
2. 認定をした構造方法等の名称
ポリエステル樹脂系フィルム張／エポキシ樹脂系裏面塗装／鋼板
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。